



地元の大学生が教える新しい移動手段と 兵庫ダイハツが担う役割

「地域の方々の暮らしに無くてはならない存在」

兵庫県は、日本海と瀬戸内海、太平洋の3つの海に面し、大都市から農村、離島まで、様々な地域で構成された自然と歴史、文化に富んだ県ですが、同時に過疎化、高齢化、災害対応など、様々な課題も内包しています。SDGs実現に向け、地域の皆さんや自治体、異業種の方々、約3千店の兵庫県内の自動車販売店の皆さんと協力して地域の課題解決に取り組んでまいります。

チョイソコ 地域×車で実現できること

「チョイとソコまでごいっしょに」をコンセプトとした『チョイソコ』。交通手段にお困りの方が多いエリアにおいて、移動手段を提供し、外出機会を増やしていただくことで、健康維持・増進を図っていただくことを目的としたサービスです。お買い物や通院、地域活動など、日常生活の交通手段としてご利用いただけます。

プログラムスケジュール例

- 10:00～ 兵庫ダイハツにおけるSDGsの取組み [チョイソコ]
- 10:45～ ワークショップ
- 12:00 終了

実施場所：兵庫ダイハツ販売株式会社 本社
 実施時間：10:00～12:00
 所要時間：約2時間
 実施可能人員：40名程度
 （日程により調整が必要です）
 実施費用：1,000円/人

① 少子高齢化や過疎地域の交通課題について考える

全国規模の課題である「人口減少」「少子高齢化」「過疎化」。「チョイソコ」や「カーシェア」といった兵庫ダイハツの活動について学び、過疎地域の公共交通について考えるきっかけを作ります。



② 地元大学生が教える新しい移動手段のワークショップ

自社ショールームを利用したワークショップで、教室内とは違った学びの場の提供が可能です。年齢の近い大学生が講師となることで、発言や質問のしやすい環境を整えます。ワークショップを通して、車を使った新しい移動手段「オンデマンド交通」の理解を深め、地域の交通課題に対して自らの考えを発信し、より生徒の思考力や表現力の育成を図ります。



③ 「クルマ」を手段としたこれからの未来を考える

車社会は100年に一度の大変革時代

Connected、Autonomous/Automated（自動化）、Shared（シェアリング）、Electric（電動化）といった「CASE(ケース)」と呼ばれる新しい領域で技術革新が進む中、過疎化が進んでいる地域や移動手段が無い地域で、「クルマ」を使ってできることを考えてみましょう。



25. 兵庫ダイハツ販売



学習のポイント

- ①身近な車という観点でSDGsを学ぶ
- ②過疎化地域の移動問題の実態を知る
- ③自分たちに「できること」を自ら考える



学習の流れ（モデル）

